

ステップ6

もくじ

たいししょう 対称な図形①～⑭ 3	小数・分数の計算①～⑥ 43	およその面積①～④ 77
線対称 (①～⑥) 3	時間と分数①・② 46	円の面積①～⑩ 79
点対称 (⑦～⑫) 6	起こりうる場合①～⑧ 47	柱体の体積①～⑧ 84
まとめ (⑬・⑭) 9	記録の整理①～⑥ 51	速さ①～⑩ 88
分数のかけ算①～⑳ 10	文字と式①～⑥ 54	道のり (⑤・⑥) 90
約分なし (②～⑧) 10	比①～⑩ 57	時間 (⑦・⑧) 91
約分1組 (⑨～⑯) 14	比をつくる (①・②) 57	速さ (⑨・⑩) 92
約分2組 (⑰～⑳) 18	等しい比 (③～⑧) 58	メートル法のしくみ①～⑧ 93
いろいろな型 (㉑～㉔) 20	まとめ (⑨・⑩) 61	答え 97
整数と分数の積 (㉕・㉖) 22	図形の拡大と縮小①～⑧ 62	
分数のわり算①～㉔ 23	比例①～⑫ 66	
約分なし (②～④) 23	x と y を使う式 (②～⑥) 66	
約分1組 (⑤～⑫) 25	グラフ (⑦～⑩) 69	
約分2組 (⑬～⑯) 29	反比例①～⑦ 72	
いろいろな型 (⑰～⑳) 31	比例・反比例①～③ 75	
整数÷分数 (㉑・㉒) 34	まとめ (①～③) 75	
分数のかけ算・わり算①～⑫ 35		
3つ口の計算 (⑦～⑫) 38		
逆数①・② 41		
分数の乗法・除法の法則①・② 42		



はじめに

「読み書き」はできるが、「算数はとても苦手」という子がいます。

教科書やプリントに問題がたくさんあるのを見ただけで学習意欲を減退させます。算数の勉強をする以前の問題です。そして、重症の「算数できない子」になってしまいます。それは仕方ないことなのでしょうか？

いや、何か手段があるはずです。それでは、克服させるにはどうしたらよいでしょう。

まず、「できる自分」に出会うことです。やさしい問題を少しやり、「問題ができた」ことを指導者と一緒に確認するのです。

「〇年生だからこれはできないとだめ」という思いがあったら、すぐ捨ててください。

次は、「続ける」ことです。少しでいい。何度も「できる自分」に出会い続けられれば、いつの間にか「できる自分」に気付きます。子供自身が「できる自分」に気付かなければなりません。

指導者が「こんなやさしい問題はできて当たり前」と思っていたら、子供は「できる自分」に気付きません。

このプリントを少しずつでいい、励ましながら「やり切る」ようにさせてください。途中で投げ出すことなくこのプリント1冊をやり切ったとき、「算数が苦手でない自分」にきっと気付いていることでしょう。

梶谷 雄三

(学力の基礎をきたえどの子も伸ばす研究会)

先生方へ



このプリントは「算数が苦手な支援が必要な」子のために作りました。そのために、基礎は押さえながらも、思いっきりやさしくしています。

集中力が持続しにくい子でもできるように、問題数を少なくして、書くスペースもゆったり取っています。

学校の学年・進度とは関係なくお使いください。

【本書全巻の特長】

- この巻では6年生のほぼ全単元を扱っていますが、「6年生」用とは書いていません。
「下の学年の内容をやっているのは恥」、という誤った思いを抱かせないためです。
- 問題数は少なくしてあります。
- 書くスペースを多く取っています。
- 単元の初めのページに、わかりやすい説明・工夫をしています。
- 問題は、それぞれ型分けして出題しています。
- うすい文字でやり方や解答例を示しています。まずはそれらをなぞらせてください。

《この巻の特長》

- 分数の乗除は、公約数を見つけて、数を小さくすると計算がおもしろくなるでしょう。約分する場所を型分けして出題しています。
- 「対称な図形」「図形の拡大と縮小」「記録の整理」「比」「比例・反比例」「柱体の体積」「速さ」などいくつもの新しい概念が出てきます。ゆっくり取り組ませてください。